

私の留学体験記

広島県立広島観音学校 1年 阪田 土威 (さかた とうい)

留学期間 平成30年7月31日～平成30年8月13日 (14日間)

留学先 B C C A (バンクーバー, カナダ)

私は、平成30年7月31日から8月13日の14日間、カナダ短期留学に参加しました。そこでの経験から、多くのことを学び、身につけることができました。

現地では、ホームステイをする前に、3日間、カナダの高校生との野外キャンプに参加しました。何をすればいいかわからず戸惑っていた私に、現地の高校生が優しく丁寧に、どうすればいいか教えてくれました。また、現地の生徒とも、広島から参加している他校の生徒とも、共同生活をするので打ち解け、仲良くなれました。文化の違う高校生達とのキャンプを通して、カナダの人たちの協調性とチームワークのすばらしさを感じました。そして、人と人とのつながりの大切さを学ぶことができました。

ホームステイ先では、ホストマザーがいろいろなところに連れて行ってくれました。カナダは自然が豊かで空気も気持ちよく、広大な土地に囲まれており、とても居心地がよかったです。ホストファミリーには、いろいろな美しい景色の場所を案内してくれたことに、とても感謝しています。

また、休日に、学校のみんなど海で花火を見たこともありました。カナダの大自然の中で見る花火は、これまで見た花火とは比べものにならないほど美しいものでした。その景色は決して忘れることができません。その日は帰るのが遅くなってしまい、ホストファミリーに心配を掛けてしまいました。出会って間もないのに申し訳ない気持ちになるとともに、私を心配してくれたことが、とてもうれしかったです。ショッピングに行ったときは、カナダ人の店員さんがフレンドリーに話しかけてきて、日本との違いに驚きを感じましたが、人と積極的につきあおうとする国民性だと感じました。

留学当初は、日本の学校で学ぶ英語とは発音や言い回しの違う英語に驚き、戸惑い、聞き取るのが精一杯で、何もできていませんでした。しかし、ホストファミリー全員が常に話しかけてくれたおかげで、語学留学が終わる頃には、会話ができるようになりました。最初は、英語でうまく意思疎通できず、自分で参加を決めたはずなのに、すごく苦痛なこともたくさんありました。しかし、日本に帰るときには、帰りたくなくて、泣きそうになるくらいでした。

今回の短期留学で、カナダの自然に触れることができただけでなく、コミュニケーションの大切さ、異文化交流の重要性について学ぶことができました。カナダだけではなく、もっと多くの国を訪問し、現地の人と積極的にコミュニケーションをとることで、英語力を高めたいです。

そして、最後に今回の短期留学に携わってくださった多くの方々に感謝します。